

みずほCustomer Desk Report 2018/02/01号(As of 2018/01/31)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.86
TKY 9:00AM	108.75	1.2409	134.93	1.4155	0.8099
SYD-NY High	109.45	1.2475	136.05	1.4233	0.8118
SYD-NY Low	108.60	1.2387	134.85	1.4122	0.8035
NY 5:00 PM	109.18	1.2413	135.59	1.4190	0.8055
NY DOW	26,149.39	72.50	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	7,411.48	9.00	日本10年債	0.0800	▲1.00bp
S&P	2,823.81	1.38	米国2年債	2.1466	2.03bp
日経平均	23,098.29	▲193.68	米国5年債	2.5215	1.35bp
TOPIX	1,836.71	▲21.42	米国10年債	2.7116	▲1.11bp
ソコ日経先物	23,275	60.00	独10年債	0.6935	1.00bp
ロンドンFT	7,533.55	▲54.43	英10年債	1.5100	5.00bp
DAX	13,189.48	▲8.23	豪10年債	2.7885	▲6.05bp
ハンセン指数	32,887.27	279.98	USDJPY 1M Vol	7.88	▲0.82%
上海総合	3,480.83	▲7.18	USDJPY 3M Vol	8.23	▲0.52%
NY金	1,343.10	3.10	USDJPY 6M Vol	8.38	▲0.32%
WTI	64.73	0.23	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	197.38	▲0.76	EURJPY 3M Vol	8.48	▲0.28%
ドルインデックス	89.15	▲0.01	EURJPY 6M Vol	8.58	▲0.11%

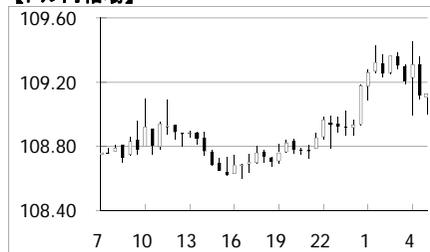
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	8:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	9:30	豪 CPI(前期比/前年比)	4Q 0.6%/1.9%	0.7%/2.0%
	10:30	日 岩田日銀副総裁 講演	-	-
	16:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	12月 -1.9%/-1.9%	-0.4%/2.8%
	18:50	欧 クーレECB専務理事 講演	-	-
	19:00	欧 失業率	12月 8.7%	8.7%
	19:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	1月 1.3%/1.0%	1.2%/1.0%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 234k	185k
2月1日	4:00	米 FOMC政策金利(上限/下限)	1.50%/1.25%	1.50%/1.25%

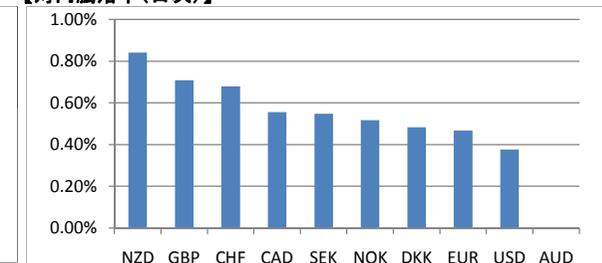
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	18:00	欧 マークイット ユーロ圏製造業PMI・確報	1月 59.6	59.6
	20:15	欧 プラートECB専務理事 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	235k	233k
2月2日	0:00	米 ISM製造業景況指数	1月 58.6	59.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.90-109.40	1.2380-1.2430	135.20-135.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は「いってこい」。この日発表された1月米ADP雇用統計の良好な結果や米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明文がタカ派と捉えられたことからドル買い優勢となる場面も見られたが、買い一巡後は利食い売りから上昇分を解消した。本日は、「引き続き」上値の重い中、方向感に欠ける展開を予想。ISM製造業景況指数や明日に米雇用統計(1月分)を控えていることもあり、市場参加者の様子見姿勢が強まろう。米一般教書演説やFOMCを通過したものの反発力に欠けていることから、水準感からの買い戻しも限定的に留まろう。上値の重い中、動意薄の展開を予想。

東京	東京時間、ドル円は108.75レベルでオープン。ホワイトハウスより公表された米一般教書演説の原稿や、黒田日銀総裁の国会答弁に対する反応は限定的だったが、月末絡みのフローを背景にドル円は仲値にかけて109円丁度近辺まで上昇。その後、108.75まで反落するも、日銀の国債買い入れオペ増額を受け円金利が低下、円売りが進みドル円は109.09まで値を伸ばした。再び小緩むも、トランプ米大統領の演説が始まると、政策期待感からドルが強含み始め再度109.09まで反発。しかし同演説において特段サプライズはなかったことから次第にドルが反落すると、終盤はドル安が加速しドル円は108.65レベルで海外に渡った。ユーロドルは終盤のドル売りに伴って東京時間高値1.2443まで上昇し、1.2439レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.65レベルでオープン。安値108.60まで下落する場面も見られたが、米金利が上昇する中、108.88まで上昇。108.86レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2439レベルでオープン。独1月失業率が5.4%に低下し、失業者数も予想1.7万人減に対し2.5万人減と良好な結果となったことで、ユーロは堅調に推移。独経済相が、独経済見通しにユーロ高を既に織り込んだと発言したことも支援材料となり、1.2463まで堅調に推移し、1.2460レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.4192レベルでオープン。メイ首相が任期満了の2022年まで首相を続投することを示唆したこと、1.4213まで上昇。しかし英国の金融機関がEU市場への自由なアクセスを保持できる包括的合意について全面的に否定されたことで上値は限定的。1.4122まで下落後、1.4172レベルでNYに渡った。(ロンドン・ドル円 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は108.86レベルでNYオープン。朝方発表された1月ADP雇用統計が予想を上回ったことや、米株が大幅高で寄り付いたことからドル円は109.02まで上昇。その後ロンドン・フィクシングにかけてドル買いが強まり、昨日高値の109.20を上抜け109.43まで続伸。その後、FOMC会合を控え109.30付近での狭いレンジでの推移が続いた。発表されたFOMCの結果を受け一旦ドル売りが強まりドル円は108.99まで急落したが、声明文は景気判断、物価判断ともに上方修正され、「さらなる緩やかな利上げが正当化される」との指摘もあり、効派的と取れる内容となったことから高値109.45まで反発。しかしこの水準ではドル売り意欲も強く、米株もプラス幅を大きく縮小し、マフス圏へ下落する展開にドル円は109丁度付近まで反落。その後は109.10を挟んでの推移が続き、109.18レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.2460レベルでNYオープン。朝方は高値1.2475まで上昇したが、ロンドン・フィクシングにかけてドル買いが強まり反落。その後効派なFOMC声明文を受けて安値1.2387まで反落。1.23台後半ではユーロ買い意欲も高く1.2423まで反発し、1.2413レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・田家